

法体系の違いからみた 外国商標出願入門

～各国商標制度の特殊性と対応策～

難易度
中級

新規
講座

平成26年7月11日(金) 10:00～17:00

講師 **青木 博通 氏** ユアサハラ法律特許事務所 パートナー・弁理士



◆経済のグローバル化により、大企業のみならず、中小企業も海外進出を余儀なくされています。海外での商品の生産、販売には自社商標の登録が不可欠です。

◆本講座では、まず、外国商標出願、調査の基本について解説します。次に、法体系の違いを踏まえて、各国商標制度の特殊性と対応策について解説します。

◆日本と全く異なる法体系（使用主義、フロード）からなる米国、模倣品の多い中国、

28か国をカバーする欧州共同体商標制度については、中間処理の方法も含め、特に詳しく解説します。

◆商標の国際登録制度「マドリッド協定議定書」については、最近顕在化してきたリスクとその対応策、利用方法についても言及する予定です。

◆本講座を受講することにより、各国バラバラな外国商標制度について法体系を踏まえて効率よく学習することができます。

【解説内容】

1. 外国商標出願の基本
2. 外国商標調査の基本
3. 外国商標出願のルート
4. 法体系の違いからみた外国商標制度
5. 各国商標制度の特殊性と対応策
米国、欧州、ロシア、中国、アジア、オセアニア、中近東、アフリカ、北米、中南米
6. マドリッド協定議定書のリスクと対策
7. 他の法律との関係
(1) 不正競争防止法 (2) 著作権法 (3) 意匠法
8. グローバル企業の商標戦略
9. 項目別各国制度のまとめ

◆日時：平成26年7月11日(金) 10:00-17:00

◆会場：発明会館7階 研修ルーム

◆定員：50名

◆講師：青木 博通 氏 ユアサハラ法律特許事務所 パートナー・弁理士

◆受講料：会員16,500円・一般19,000円（※消費税8%込み）

◆申込：FAXもしくは、HPからお申込下さい。(http://www.jiii.or.jp 「研修のご案内」)